



「情報セキュリティすごろく」で 情報モラルを身に付ける

ネット安全・安心ぎふコンソーシアム事務局

<http://www.jp.mirai.ne.jp/~g-ikusei/consortium/>

「情報セキュリティすごろく」とは

ネット安全・安心ぎふコンソーシアムは青少年が安全に安心してネットを利用できる環境の整備に取り組むため、携帯電話事業者、岐阜県内の行政、教育、警察、保護者団体等により構成された組織です。

「小中高生のスマホ所持率の増加」「ネット利用開始の低年齢化」「子どもたちにとって有害となる情報のネット上での氾濫」「ネットを通じた犯罪に巻き込まれる子どもの増加」などの状況を踏まえると、子どもたちへの情報モラル教育の充実は急務となっています。そこで、当コンソーシアムと県内の高校生が協力して作成したのが「情報セキュリティすごろく」(以下、すごろく)です。

本教材は、小・中学生がすごろくで遊ぶことを通して、ネット利用に関するトラブル等の問題点やネットを有効活用する手法について学び、適切な利用に向けて意識づけをしていくこと。さらに、子どもたちに指導する立場にある人が「誰でも」実践できる教材を活用することで、情報モラルに関する指導を広く推進していくことを目的としています。

すごろくには、初級編(小学生向け)と上級編(中学生以上向け)があり、どちらもすごろくシート(☒)およびクイズカードで構成され、5人程度で遊ぶことができます*。サイコロを振ってコマを進め、止まったマスの指示に従います。その1つがクイズカードに示された○×

☒ すごろくシート(初級編)



問題を解くことです。○×問題の例は次のとおりです(カッコ内は解答)。

- URL をクリックしたら、高額請求が来たのでサイト運営者に電話をした。〈×〉
- インターネットに発信した情報は、完全に削除することができる。〈×〉
- ゲーム機でもフィルタリングサービスは使える。〈○〉

このように、各マスの指示に従い、情報モラルの基本を学ばなかで、手持ちのトランプの枚数が例えば前記のクイズに正解すると1枚増え、不正解だと1枚減るなどで増減し、最終的にトランプの数字の合計点が最も多い人が勝ちとなります。

「出前講座」の実施

すごろくの普及を目的として、県内の希望する小中学校に当コンソーシアム職員が出向き、

* すごろくは岐阜県のウェブサイトからダウンロードが可能 <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/9374.html>

出前講座を実施しています。

2020年度は、9月に^{とみか}富加町立富加小学校で、次のように実施しました。

①対象：6年生児童41名

②内容：2コマ構成(計90分程度)で実施

前半は情報モラル教材DVD(後述)内にある統計資料や具体的な事例を基にした説明を聞くことを通して、ネットの適切な使い方や、犯罪などから自分の身を守るために必要な能力について学びました。また、すごろくの説明動画を見て、ルールを理解しました。

後半は、実際にすごろくで遊びました。児童たちは手持ちのトランプの増減に一喜一憂しながらも、クイズの解答を真剣に考えるようすも多くみられました(写真)。すごろくで遊びながら、ネット利用に関するトラブル等の問題点やネットの効果的な活用方法などの情報モラルの基礎を学びました。

受講した児童の感想は次のとおりです。

- フィルタリングは、怪しいメールやサイト、アプリから守ってくれることが分かりました。自分が正しく使えるようにしてくれるから、フィルタリングを使いたいと思いました。
- フィルタリングやスマホを使うとき大切なことが分かりました。なので、スマホを持ったら今日習ったことに気をつけたいです。
- パスワードを分かりにくくするよう工夫したり、悪いアプリがしっかり見分けられるようにしたいです。

これまでは、指導者がプレゼン画面を示しながら話し、児童生徒はそれを聞くという形式が情報モラル学習の中心でした。このようなかたちの学びでは、児童生徒がどうしても受け身になってしまいがちでした。しかし、すごろくを用いて、遊ぶなかで情報モラルについて自身で考え、判断する場面を作ることで、児童生徒の

写真 すごろくで遊ぶ児童たち



主体的に学ぶ姿を生み出すことができました。

誰でも活用できる教材に

情報モラルの指導の実施に当たって、特別な時間を設定し、講師を招くのではなく、「誰でも」「日常的に」指導できるようにすることが肝心です。そこで、指導用に前述の情報モラル教材DVDを作成し、教員が活用できるようにしました。DVDには、すごろくの遊び方の説明動画のほか、小中学生のスマホ等情報通信機器の使用にかかわる統計資料も収録し、一連の指導を行うことができるようにしました。

今後に向けて

2021年度は、すごろくの普及に向けて、県内の全小中学校、義務教育学校、特別支援学校に、すごろく一式を配布しました。各学校において情報モラル教育のカリキュラムに組み込み、実践してもらうことを期待しています。

また、情報モラル教育の推進に当たっては、家庭の協力が不可欠です。そこで、PTA授業参観等で親子ですごろくをしたり、家庭教育学級で保護者がすごろくを通して情報モラルについて学んだりして、それらをきっかけに各家庭で話題にし、家族全員で考えていく機会を作ってもらうことも期待しています。このことから、PTAの会合やPTA新聞等でPRを行い、さらなる普及をめざし、取り組んでいきます。